



7月6日 ジャンボ折鶴に挑戦

ジャンボ折鶴とはどんなものなのかと興味津々でした。地区のお年寄り八十五名と海蔵小二・三年生五十七名の参加で猛暑とは一味違う熱気を味わいました。先ずは挨拶がわりの肩たたき、お次はジャンケン汽車ポッポ。いつの間にか歳の差忘れた真剣ゲームが展開。さてメインのジャンボ折鶴は、五m四方の紙で作りました。あまりにも大きすぎて折り順を思いおこしながらの大奮闘。折り目は足で伸ばし、中へ入ってひっくりかえしてと、記念のお絵かきをしてや々と完成。この日、子供達とお年寄りのかけ橋となった四羽の『大鶴』はそれぞれ皆の心にしつかりと羽ばたいていきました。

福祉の広場



主催
海蔵地区社会福祉協議会



With 障害児・者と共に生きる

障害をもつ人にとってどんな海蔵地区が住み良いのか。障害をもつもたないにかかわらず住み良い地域づくりをめざしましょう!

8月6日「福祉体験教室」

昨年の手話教室に続いて二度目の体験はアイマスクをつけての歩行と車椅子の操作でした。盲導犬は、英国に五千頭、日本に六百頭、四日市に五頭いて当地区に二頭が頑張っているそうです。盲導犬ベルのオーナー山下さんは「盲導犬も子供と同じで、どこにでも連れて歩けば、より親密な間柄になれる」と言われます。

アイマスクでの歩行はやっぱり不安で一杯でした。体験ではほんの少ししかその立場になれないけれど、それが共に生きようとする始まりかなと感じました。今回、何より心強かったのは山手中の福祉委員会の生徒達の参加です。この若い力が地域福祉の原動力となってくれる事を願って止みません。

「海蔵の寺社」

今回は東阿倉川にある上野山眞楽寺(浄土眞宗本願寺派、潤信澄住職)をご紹介します。

当寺の由緒は、往古天台宗として創立されその後、応仁元年本願寺第八代蓮如上人当地化導の際し、当時の了空住職が上人に深く帰依し、六字尊号を賜った。以来五百二十余年の歴史の中でお法の継承がなされてきました。現本堂は明治十四年に再建されまた明治三十七年に内陣の彩色が

シリーズその④

なされ、信仰の殿堂として面目を整えられました。しかし開法の道場として先人たちが身ををかけて建立されましたが九十余年の風雪に耐え屋根の破損が甚だしく昭和五十一年に、屋根葺き替え工事がなされ現在に至っています。

一方、二十一世紀にふさわしい念仏の身教えが子々孫々まで継承するために、いろいろな活動が開かれています。

眞楽寺

特に印象深いのは、年の瀬から元旦にかけて除夜会、修正会が勤まることです。

除夜の鐘は誰でも撞くことができ、多くの人が参加し一個づつ鈴をもらって鐘を撞くのを楽しみにしています。続いて修行される修正会には、多くの子供達が参拝しているのに驚かされます。これは二十五年前より日曜学校が開設されているからと思われま

海蔵地区指標		(H6.10.1現在)
面積	3.65km ²	
人口	11,289人	
世帯数	3,844戸	

人口の伸びは徐々であるが、核家族化の傾向から左表のとおり、一世帯当りの家族数は、減少しており、現在は2.9人/戸である。

市全体(23地区)の比較では人口、世帯数は12番目、11番目と中央値を示すが、面積は3番目と狭く、従って人口密度は高く、3,085人/km²と4番目である。地区内の人口の多い町(通称町名)のベスト3は、万古町、西阿倉川四区、みゆき二丁目である。

年度	海蔵地区(K)			市全体	
	世帯数(戸)	人口(人)	(人/戸)	世帯数(戸)	人口(人)
1960(S35)	1,996	8,818	4.4	43,171	195,974
1970(S45)	2,822	10,652	3.8	58,500	229,234
1980(S55)	2,933	10,205	3.5	73,991	257,284
1990(H2)	3,529	10,847	3.1	89,664	276,788

編集後記

『家族』この掛替えない大切なもの、また空気のようなもの。秋の夜長、ご家族揃っての団らん、お話し合いの糧にと願って、お届けします。